

東海北陸厚生局長 殿

開設者名 学校法人 藤田学
理事長 小野雄一

藤田保健衛生大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1. 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3. 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	232人
--------	------

 (注)前年度の研修医の実績を記入すること
- 4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	451人	147人	475.5人	看護補助者	205人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	11人	7人	13.0人	理学療法士	33人	臨床検査技師	107人
薬剤師	81人	0人	81.0人	作業療法士	18人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	9人	その他	0人
助産師	25人	1人	25.4人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1,135人	14人	1,143.4人	臨床工学士	32人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	8人	2人	9.3人	栄養士	11人	その他の技術員	13人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	196人
管理栄養士	23人	0人	23.0人	診療放射線技師	90人	その他の職員	81人

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3. 「合計」の欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計数を記入すること。

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たりの平均入院患者数	1,167.3人	12.0人	1,179.3人
1日当たりの平均外来患者数	1,029.1人	83.5人	2,012.6人
1日当たりの平均調剤数			(外来) 43,411 (入院) 37,374 剤

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	気管支鏡検査時鎮静術	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要			
気管支鏡検査時に安全かつ有効に鎮静を行う。被検者の80%以上で再検査の受容が得られるなど高い有効率があり重篤な合併症も起こらない。			
医療技術名	Ebウイルス、サイトメガロウイルス感染症迅速診断	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要			
免疫抑制下に見られるサイトメガロウイルス感染症や不明熱などの患者に時に見られるEBウイルス感染症を早期に診断するため、real time PCR法を用いて検索を行っている。			
医療技術名	クリオフィルトレーション(Cryopheresis)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
本態性クリオグロブリン血症や関節リウマチ症例などに対し、血漿冷却濾過法による二重濾過血漿交換法(Cryopheresis)で選択的クリオグロブリンを除去している。			
医療技術名	Myeloma cast nephropathyによる急性腎不全への頻回血液透析濾過	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
Free light chain(FLC)の除去を目的として、V型透析膜を用いて血液濾過透析を頻回に行うことにより、化学療法が奏功するまでの期間FLCによる腎障害を軽減させる。			
医療技術名	糖尿病性腎症と急性腎障害のメタボロームによる早期診断	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要			
メタボフォームとは、細胞の活動によって生じる小分子代謝産物であるが、その疾患毎の解析にて新規マーカーの同定が可能である。我々は慶応大学との共同研究で糖尿病性腎症及び急性腎障害のCE-TOFMSを用いたメタボローム解析を用い、早期診断を行っている。			
医療技術名	腎炎・膠原病の誘発自己抗体の測定診断	取扱患者数	100人
当該医療技術の概要			
腎炎、膠原病は自己抗体が病因として重要であるが、表現性、例えばループス腎炎における組織学的は変異のパラエティへの関係は明らかでない。我々は新規細胞膜ELISA法を用い、腎炎・膠原病の膜表面を抗原とする自己抗体を検出し、この結果を基に治療法を最終決定している。			
医療技術名	傍腫瘍性抗神経抗体の測定	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要			
担癌患者神経症状の原因となる抗神経抗体の検出をウエスタンブロット法で実施			
医療技術名	抗中性糖脂質抗体の測定	取扱患者数	250人
当該医療技術の概要			
種々の神経免疫性神経疾患の原因抗体としての本抗体の検出をサーマルプロテイング法で実施。			

医療技術名	抗アクアポリン4抗体の測定	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
視神経脊髄炎で高率に陽性となる抗アクアポリン4抗体の検出を免疫蛍光法で実施。			
医療技術名	腹膜透析療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
先天性の腎不全の1例と幼児期の慢性腎不全1例に対して腹膜透析療法を行った			
医療技術名	ロボット肝切除術	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
da Vinci S Systemを使用した肝臓手術を行っている			
医療技術名	ロボット膵切除術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
da vinci surgical systemを用いて膵切除は低侵襲術式であり、回復が早い。			
医療技術名	ロボット(daVinci)による食道手術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
daVincisurgical sysytemを使用した胸腔鏡下食道手術の低侵襲性とロボットによる精密な操作性を兼ね備えた手術法			
医療技術名	ロボット(daVinci)による胃手術	取扱患者数	29人
当該医療技術の概要			
daVincisurgical sysytemを使用した腹腔鏡下胃手術の低侵襲性とロボットによる精密な操作性を兼ね備えた手術法			
医療技術名	ロボット支援下大腸切除術	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要			
ロボット手術装置を用いた手術。解像度が高く3D画像から手術を行なう為、根治性を保ち患者のQOLを上げる手術である。			
医療技術名	da Vinciロボット支援肺癌手術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
原発性肺癌に対するda Vinciロボット支援による肺葉切除+縦隔リンパ節郭清術および肺区域切除術			
医療技術名	Single-port thymectomy	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
剣状突起下のSingle-portアプローチによる胸腺腫(胸腺)摘出術			

医療技術名	形成外科的内視鏡手術	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
<p>最小侵襲外科的発想から、形成外科においても体表面の目立つ部位に手術痕を残さない、もしくは可能な限り小さな創から治す工夫がなされている。漏斗胸をはじめ、皮下腫瘍、顔面骨骨折などに対して内視鏡を導入することで、小切開からの手術が可能となった。</p>			
医療技術名	頭蓋顎顔面領域の三次元骨延長	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
<p>整形外科領域における四肢の骨延長術は一般的になり、形成外科においても骨延長が導入されてきている。現在ではまだ二次元的な延長が主体であるが、顔面の形態や咬合をより自然に治療するためには三次元的な延長が理想である。われわれは歯科口腔外科の協力のもと、3次元画像と実体モデルを用いたシミュレーションを行い、この3次元骨延長術において良好な成果を挙げつつある。</p>			
医療技術名	遺伝子解析に基づいた神経膠腫に対する化学療法選択	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要			
<p>神経膠腫患者において化学療法感受性に関係する遺伝子異常を解析し、その結果によって(維持)化学療法剤の選択を行う</p>			
医療技術名	脊椎電気刺激療法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
<p>遷延性意識障害患者に対し、上位頸髄硬膜外に電極を留置して電気刺激を行うことで意識状態の改善を図る</p>			
医療技術名	神経内視鏡技術を応用した脳深部腫瘍の生検術	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要			
<p>神経内視鏡と手術ナビゲーションを応用して、脳深部に発生した腫瘍に対して正確な組織採取と確実な止血操作を特徴とする組織生検術を行う</p>			
医療技術名	頸椎症性脊髄症および神経根症に対する手術	取扱患者数	45人
当該医療技術の概要			
<p>顕微鏡を使用して行う最小侵襲の除圧手術と固定手術を使い分けて行っている</p>			
医療技術名	ストロンチウムを使用	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
<p>転移性骨腫瘍に対してのストロンチウムを使用</p>			
医療技術名	薬物内服負荷試験	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要			
<p>薬疹の被疑薬もしくは今後内服可能な薬を検索する目的で行う。入院の上、点滴ルートを確認し、薬剤を常用量の1/1000量から順に時間をかけて常用量まで内服する。原因薬剤および成分を解析し、さらに公叉反応性などの分析も行っている。</p>			
医療技術名	食物依存性運動誘発アナフィラキシーに対する誘発試験	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
<p>入院の上、点滴ルートを確認し、即時型アレルギー症状を起こした可能性のある食物を摂取後にトレッドミル(心電図室)を用いて運動負荷をかける。またアスピリン誘発に関しては、アスピリン誘発に関しては、アスピリンとのコンビネーション投与なども行っている。本検査によりアナフィラキシー症例の原因抗原を解析し、患者のQOLの向上に貢献している。</p>			

医療技術名	皮膚貼布テスト(パッチテスト)	取扱患者数	245 人
当該医療技術の概要			
<p>遅延型アレルギーの検査目的で行う。感作が疑われる抗原を背部に閉鎖貼布し検査を行う。ジャパニーズスタンダードや金属などのようなアレルゲンの他に、工場で使用している薬品類などの職業性アレルギーに対してはパッチテストの結果を元に接触感作物質の分析・解析を行っている。</p>			
医療技術名	ブリックテスト	取扱患者数	313 人
当該医療技術の概要			
<p>即時型アレルギーの検査目的で行う。アレルギーの原因と考えられる食物などを用いる。さらにラテックスアレルギーや花粉-食物アレルギー症候群の精査のために、リコンビナント抗原を用いた検査も行い原因抗原の同定を試みている。</p>			
医療技術名	腹腔鏡補助下子宮腺筋症切除術	取扱患者数	2 人
当該医療技術の概要			
<p>子宮内膜症は生殖年齢婦人の5~10%に発症するといわれ、近年増加している。それに伴い、子宮腺筋症は生殖年齢女性に多く発症し、生殖年齢女性のうち1~36%にみられるとされている。従来子宮腺筋症は、経産婦や流産既往のある婦人に多く発生するため治療としては大部分子宮の摘出が選択され、保存的治療の試みはなされていなかった。そこで、より低侵襲な腹腔鏡下手術による子宮腺筋症症例に対する妊孕性温存手術を確立し実践している。</p>			
医療技術名	da Vinci S surgical systemを用いた子宮(亜)全摘術	取扱患者数	3 人
当該医療技術の概要			
<p>手術支援ロボットは、内視鏡手術では困難な部位の手技も操作性が優れ、ストレスの少ない、より複雑で細やかな手術手技を可能としている。また3次元による正確な画像情報を取得できるため、より安全かつ侵襲の少ない手術が可能である。そこで、近年増加傾向にある子宮筋腫に対して、da Vinci S surgical systemを用いた子宮(亜)全摘術を確立し実践している。</p>			
医療技術名	3次元4次元超音波検査の臨床的活用	取扱患者数	50 人
当該医療技術の概要			
<p>3次元立体像ならびにこれに時間を加えた4次元超音波検査を応用し、骨盤内臓器や胎児異常の出生前診断に活用している。</p>			

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	64人	・膿疱性乾癬	4人
・多発性硬化症	43人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・重症筋無力症	42人	・原発性胆汁性肝硬変	14人
・全身性エリテマトーデス	382人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	43人
・再生不良性貧血	20人	・混合性結合組織病	50人
・サルコイドーシス	85人	・原発性免疫不全症候群	9人
・筋萎縮性側索硬化症	6人	・特発性間質性肺炎	2人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	230人	・網膜色素変性症	13人
・特発性血小板減少性紫斑病	60人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	60人	・肺動脈性肺高血圧症	6人
・潰瘍性大腸炎	303人	・神経線維腫症	4人
・大動脈炎症候群	20人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	16人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	17人
・脊髄小脳変性症	54人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	9人
・クローン病	247人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	5人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患	112人	・球脊髄性筋萎縮症	2人
・アミロイドーシス	6人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	22人
・後縦靭帯骨化症	61人	・肥大型心筋症	5人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	50人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	8人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	58人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症	26人	・黄色靭帯骨化症	5人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害	32人
		合計	2,222人

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	心不全に対する埋め込み型補助人工心臓による社会復帰を目指した新たな治療法の導入	森本紳一郎	循環器内科	200,000 円	補委 文部科学省
2	リンパ管新生関連遺伝子発現に基づく肺癌リンパ節転移の機序解明と診断、治療法の開発	今泉和良	呼吸器内科・アレルギー科	2,600,000 円	補委 日本学術振興会
3	NSAIDs過敏気道疾患の病因、発症機序解明とガイドライン作成に関する研究	磯谷澄都	呼吸器内科・アレルギー科	500,000 円	補委 厚生労働省
4	肥満・高血圧合併睡眠時無呼吸患者に対する防風痛聖散及び大柴胡湯の治療効果の比較と病態生理の	榊原博樹	呼吸器内科・アレルギー科	200,000 円	補委 厚生労働省
5	がん特異的細胞性免疫の活性化を基盤とする新たな治療の開発 (H22-3次がん一般-029)	赤塚美樹	血液内科	2,000,000 円	補委 厚生労働省
6	灌流法により採取された骨髄細胞を用いた骨髄内骨髄移植療法:基礎から臨床へ (H22-免疫一般-009)	赤塚美樹	血液内科	370,000 円	補委 厚生労働省
7	再生不良性貧血におけるゲノム異常を利用した造血抑制因子の同定 基盤研究(B) 研究課題番号:24390243	赤塚美樹	血液内科	300,000 円	補委 日本学術振興会
8	「移植細胞源を異にする非血縁造血細胞移植の組織適合性に基づく成績向上と移植選択アルゴリズムの確率に関する研究」研究班分担研究	森島聡子	血液内科	1,000,000 円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
9	「GvH反応とGvL反応の差を決定するHLA遺伝子および非HLA遺伝子の解明」研究分担者	森島聡子	血液内科	3,000,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
10	急性前骨髄性白血病キメラ遺伝子BCOR-RARAによる白血病発症機序の解明	山本幸也	血液内科	1,950,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
11	混合性結合組織病の病態解明、早期診断と治療法の確立に関する研究	吉田俊治	リウマチ・感染症内科	3,162,000 円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
12	混合性結合組織病の病態解明、早期診断と治療法の確立に関する研究	深谷修作	リウマチ・感染症内科	1,700,000 円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
13	膠原病患者における疼痛開値の検討	吉田俊治	リウマチ・感染症内科	700,000 円	補委 藤田学園教員研究助成費
14	膠原病患者におけるEBウイルス感染の実態の解明	深谷修作	リウマチ・感染症内科	300,000 円	補委 藤田学園教員研究助成費
15	深在性真菌症における発症因子および治療成功因子の分析	加藤賢一	リウマチ・感染症内科	200,000 円	補委 藤田学園教員研究助成費
16	進行性腎障害に関する調査研究	湯澤由紀夫	腎内科	2,500,000 円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
17	糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法確立のための評価法の開発	湯澤由紀夫	腎内科	500,000 円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
18	脂肪由来細胞を用いた腎疾患治療の開発 —再生促進作用と免疫抑制作用の融合—	湯澤由紀夫	腎内科	200,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
19	メタボローム解析による新規AKIバイオマーカーの網羅的探索と検査薬の開発	湯澤由紀夫	腎内科	600,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
20	第3のガスメッセンジャー硫化水素の誘導性産生機序とその役割の解明	湯澤由紀夫	腎内科	100,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
21	患者血清を用いた免疫複合体疾患動物実験モデルの樹立	湯澤由紀夫	腎内科	150,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
22	脂肪由来間葉系幹細胞を用いた免疫抑制療法の開発	湯澤由紀夫	腎内科	150,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
23	新たな疾患概念「腎障害におけるRASを介した腎・肺関連」の確立	湯澤由紀夫	腎内科	150,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
24	慢性腎不全の生命予後を規定する遺伝子情報の国際比較調査研究	湯澤由紀夫	腎内科	1,000,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
25	急性腎障害における肺腎相関の病態解明と診断マーカーとしてのミッドカインの臨床応用	林 宏樹	腎内科	2,340,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
26	血液浄化療法によるfree light chain(FLC)およびIL-6除去効率の比較検討	金山恭子	腎内科	100,000 円	補委 愛知腎臓財団
27	造影剤腎症における尿中バイオマーカー	服部恭子	腎内科	100,000 円	補委 愛知腎臓財団
28	IgG4関連腎症に対する免疫抑制療法前後での臨床・免疫・病理学的検討	新居春菜	腎内科	100,000 円	補委 愛知腎臓財団
29	IgA腎症における各治療法における長期予後観察の報告(扁摘、扁摘パルス療法は本当に有効であるのか?)	山本義浩	腎内科	100,000 円	補委 腎疾患と高血圧研究会
30	尿を用いた新たな急性腎障害診断法の開発	湯澤由紀夫	腎内科	500,000 円	補委 株式会社医学生物学研究所
31	ICU領域の急性腎傷害(AKI) 早期診断・予後推定のための新規バイオマーカーの開発	湯澤由紀夫	腎内科	2,500,000 円	補委 藤田学園教員助成金
32	糖尿病性腎症の発症・進展に関わる代謝分子群の網羅的解析	湯澤由紀夫	腎内科	700,000 円	補委 藤田学園教員助成金
33	多発性骨髄腫に対する血液浄化療法の検討	長谷川みどり	腎内科	200,000 円	補委 藤田学園教員助成金
34	糖尿病合併CKDにおけるレオグリアゲン投与前後の尿中バイオマーカーの変化	富田亮	腎内科	200,000 円	補委 藤田学園教員助成金
35	長時間透析による鉄代謝改善に関する臨床研究	村上和隆	腎内科	200,000 円	補委 藤田学園教員助成金
36	急性腎障害における肺腎相関の病態解明と、診断マーカーとしてのミッドカインの臨床応用	林 宏樹	腎内科	150,000 円	補委 藤田学園教員助成金
37	糖尿病戦略研究課題3(J-DOIT3)	伊藤光泰	内分泌・代謝内科	2,280,000 円	補委 厚生労働省科学研究費補助金 財団法人 国際協力医学研究振興財団

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
38	骨粗鬆症に対する多剤併用療法の有効性に関する研究	鈴木敦詞	内分泌・代謝内科	50,000 円	補委 財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター
39	免疫性神経疾患に関する調査研究	武藤多津郎	神経内科	500,000 円	補委 厚生労働省 科学技術振興補助金 難治性疾患克服研究事業 免疫性神経疾患に関する調査研究
40	キノホルムの毒性検討	武藤多津郎	神経内科	1,200,000 円	補委 厚生労働省 科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 スペムに関する調査研究
41	神経疾患でのミクログリアの病態発現に果たす役割の解明と診断治療への応用	武藤多津郎	神経内科	1,300,000 円	補委 文部科学省 科学研究補助金 基礎研究 (C)
42	精神神経筋疾患の病態解明と次世代型診断・治療・予防法開発に向けた研究拠点形成	武藤多津郎	神経内科	4,000,000 円	補委 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
43	全ゲノム領域を対象とした関連解析	岩田仲生	精神科	9,750,000 円	補委 独立行政法人 科学技術振興機構
44	抗精神病薬の多剤大量投与の安全で効果的な是正に関する臨床研究	岩田仲生	精神科	15,900,000 円	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
45	精神療法の有効性の確立と普及に関する研究	岩田仲生	精神科	700,000 円	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
46	精神疾患患者に対する早期介入とその普及啓発に関する研究	岩田仲生	精神科	1,050,000 円	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
47	精神疾患の生物学的病態解明研究－最新の神経科学・分子遺伝学との融合－	岩田仲生	精神科	1,600,000 円	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
48	統合失調症の多次元生物学的診断法と新たな治療薬の開発をめざした病態解明	岩田仲生	精神科	1,000,000 円	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
49	自殺対策のための複合的介入法の開発に関する研究	岩田仲生	精神科	200,000 円	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
50	精神・神経疾患にエピゲノム解析に関する開発的研究	岩田仲生	精神科	1,200,000 円	補委 厚生労働省 精神・神経疾患研究費
51	遺伝環境統計学的相互作用大規模解析による気分障害の病態メカニズムの解明	岩田仲生	精神科	25,000,000 円	補委 文部科学省 科学技術試験研究委託事業
52	睡眠医療及び睡眠研究用プラットフォームの構築に関する研究	北島剛司	精神科	750,000 円	補委 厚生労働省 精神・神経疾患研究費
53	うつ病の予兆検知へ向けた身体活動時系列の臨床応用基盤に関する研究	北島剛司	精神科	1,800,000 円	補委 文部科学省 科学研究費補助金
54	改正法後の脳死下臓器提供におけるコーディネイトに関する研究	山之内芳雄	精神科	1,000,000 円	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
55	成育医療における難治性ウイルス感染症に対する予防・診断・治療法の開発と臨床応用	吉川哲史	小児科	3,500,000 円	補委 成育医療研究開発費
56	ワクチンにより予防可能な疾患に対する予防接種の科学的根拠の確立ならびに対策の向上に関する研究	吉川哲史	小児科	1,500,000 円	補委 厚生労働省
57	食物アレルギー経口免疫療法の作用機序に関する免疫学的解析	柘植郁哉	小児科	1,430,000 円	補委 文部科学省
58	ペプチドミルクによる低アレルゲン経口免疫療法の確立	犬尾千聡	小児科	1,430,000 円	補委 文部科学省
59	成育医療における難治性ウイルス感染症に対する予防・診断・治療法の開発と臨床応用	吉川哲史	小児科	3,500,000 円	補委 成育医療研究開発費
60	ワクチンにより予防可能な疾患に対する予防接種の科学的根拠の確立ならびに対策の向上に関する研究	吉川哲史	小児科	1,500,000 円	補委 厚生労働省
61	肛門温存療法に関する解剖および手術手技の研究	前田耕太郎	下部消化管外科	900,000 円	補委 国立がん研究センター
62	進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の標準的治療法確立に関する研究	前田耕太郎	下部消化管外科	500,000 円	補委 大分大学
63	直腸癌に対するロボット手術による機能温存に関する研究	花井恒一	下部消化管外科	800,000 円	補委 国立がん研究センター
64	肺癌組織の遺伝子発現解析とそれに基づく抗体治療法の研究	服部良信	呼吸器外科	600,000 円	補委 藤田保健衛生大学 教員研究助成費
65	胸部疾患に対する手術支援ロボットda Vinciサージカルシステムの有用性に関する検討	須田 隆	呼吸器外科	400,000 円	補委 藤田保健衛生大学 教員研究助成費
66	胸腔鏡下肺切除術後の疼痛緩和に対する持続壁側胸膜外麻酔法の有用性に関する前向き比較試験	杉村裕志	呼吸器外科	200,000 円	補委 藤田保健衛生大学 教員研究助成費
67	原発性上皮小体機能亢進症腺腫におけるcAMP/PKA シグナリングの解析	日比八束	内分泌外科	2,210,000 円	補委 文部科学省 科学研究費
68	悪性グリオーマの化学療法剤temozolomideに対する耐性獲得機序の解明と薬剤感受性増強法の開発	廣瀬雄一	脳神経外科	700,000 円	補委 藤田学園 研究助成費
69	腰椎変性側弯症の病態と手術術式の検討	庄田 基	脳神経外科	450,000 円	補委 藤田学園 研究助成費
70	中枢性軸索損傷における顔面神経核の逆行性変性の機序	長谷川光広	脳神経外科	450,000 円	補委 藤田学園 研究助成費
71	脳動脈瘤の塞栓術における充填度とコストおよび長期的塞栓効果の関係に関する検討	定藤章代	脳神経外科	300,000 円	補委 藤田学園 研究助成費
72	悪性神経膠腫におけるIPLOHとMRI ADC値との相関について	川瀬 司	脳神経外科	150,000 円	補委 藤田学園 研究助成費
73	脊椎・脊髄外科術後疼痛における、COX-2選択的阻害剤の鎮痛効果の検討	久野茂彦	脳神経外科	150,000 円	補委 藤田学園 研究助成費
74	色素注入cadaverを用いた頭蓋頸椎移行部微小外科解剖の研究	井上辰志	脳神経外科	150,000 円	補委 藤田学園 研究助成費
75	グリオーマに対するテモゾロミド耐性獲得の機序並びに化学療法剤増感法の検討	安達一英	脳神経外科	150,000 円	補委 藤田学園 研究助成費
76	脳卒中初期診療教育コース(ISLS)を用いた医学部学生における生涯教育及びそれらの開発について	井水秀栄	脳神経外科	150,000 円	補委 藤田学園 研究助成費

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
77	精神神経筋疾患の病態解明と次世代型診断・治療・予防法開発に向けた研究拠点の形成	廣瀬雄一	脳神経外科	4,000,000 円	補 文部科学省 委 私立大学戦略的 研究基盤形成 支援事業
78	顔面神経核の逆行性変性阻止への末梢性、中枢性グリアの作用と軸索再生機序の解明	長谷川光広	脳神経外科	780,000 円	補 文部科学省 委 科学研究費
79	グリオーマに対するテモゾロミド耐性獲得の機序並びに化学療法剤増感法の検討	安達一英	脳神経外科	1,430,000 円	補 文部科学省 委 科学研究費
80	多中性骨肉腫樹立細胞株を用いた病態解明と転移抑制のための実験的研究	山田治基	整形外科	1,170,000 円	補 文部科学省 委 科学研究費
81	金属アレルギーの革新的診断・予防・治療法の開発研究	松永佳世子	皮膚科	1,100,000 円	補 厚生労働省 委 科学研究費
82	国際協調を重視した化粧品・医薬部外品における安全性試験法の再評価に関する研究	松永佳世子	皮膚科	500,000 円	補 厚生労働省 委 科学研究費
83	医薬品添加剤等の安全確保に関する研究	松永佳世子	皮膚科	1,000,000 円	補 厚生労働省 委 科学研究費
84	尋常性痤瘡患者および健康人における薬剤耐性、皮膚常在菌叢の実態調査	松永佳世子	皮膚科	700,000 円	補 藤田学園教員助 委 成費
85	即時型アレルギーに対する実態調査および抗原解析	矢上晶子	皮膚科	200,000 円	補 藤田学園教員助 委 成費
86	色素性皮膚疾患ならびに表在性皮膚(腫瘍)病変における 非侵襲的画像診断の確立	秋田浩孝	皮膚科	250,000 円	補 藤田学園教員助 委 成費
87	進行期皮膚悪性腫瘍の研究	有馬 豪	皮膚科	200,000 円	補 藤田学園教員助 委 成費
88	網羅的遺伝子解析による接触皮膚炎の診断バイオマーカー探索と診断技術の確立	矢上晶子	皮膚科	1,690,000 円	補 文部科学省 委 科学研究費
89	国内におけるヒト正常細胞分譲システム網の確立	赤松浩彦	応用細胞再生医学	1,000,000 円	補 財団法人ヒューマン 委 サイエンス振興財団
90	移植医療の社会的基盤に関する研究	星長清隆	泌尿器科	600,000 円	補 厚生労働省 委 科学研究費
91	腎細胞特異抗原に対し単離した完全ヒト型抗体の機能解析と治療効果の研究	白木良一	泌尿器科	640,000 円 (特許)	補 文部科学省 委 科学研究費
92	ファージディスプレイ法より前立腺癌の癌特異抗原に対し単離した完全ヒト型抗体の研究	白木良一	泌尿器科	1,950,000 円	補 文部科学省 委 科学研究費
93	心停止下高齢ドナーからの献腎移植適応に関する研究	早川邦弘	泌尿器科	780,000 円	補 文部科学省 委 科学研究費
94	献腎移植における移植腎予後と心機能を評価するバイオマーカーの確立	日下守	泌尿器科	2,210,000 円	補 文部科学省 委 科学研究費
95	子宮頸部扁平上皮癌のプラチナ製剤の感受性に関する遺伝子解析	宇田川康博	産科・婦人科	750,000 円	補 日本私学学校振 委 興共催事業団
96	妊娠高血圧症候群の発症前診断に関する基礎的・臨床的検討	西澤春紀	産科・婦人科	700,000 円	補 日本私学学校振 委 興共催事業団
97	胎児発育不全合併妊娠の発症前診断に関する検討	多田 伸	産科・婦人科	300,000 円	補 日本私学学校振 委 興共催事業団
98	重症妊娠高血圧症候群の胎盤におけるセリンプロテアーゼHtrAの関与	酒向隆博	産科・婦人科	100,000 円	補 日本私学学校振 委 興共催事業団
99	閉経後肥満は肝臓のPPAR γ が関与する	西尾永司	産科・婦人科	200,000 円	補 日本私学学校振 委 興共催事業団
100	妊娠高血圧症候群での母体腎血流評価と頸動脈評価・胎盤血流評価	岡本治美	産科・婦人科	100,000 円	補 日本私学学校振 委 興共催事業団
101	経超音波断層像による妊娠末期頸管領域像と、Real-time PCR法による頸管熱化に関与するmRNA発現との関連およびそれを用いた分娩進行と臨産的予後予測	野田佳照	産科・婦人科	150,000 円	補 日本私学学校振 委 興共催事業団
102	脳内のアロマトーゼの欠乏と不定愁訴の関係	河合智之	産科・婦人科	100,000 円	補 日本私学学校振 委 興共催事業団
103	卵巣明細胞腺癌におけるPodoplaninの発現と、細胞増殖、血小板凝集能、EMTとの関連	大江収子	産科・婦人科	300,000 円	補 日本私学学校振 委 興共催事業団
104	プラチナ抵抗性子宮頸部腺癌細胞株におけるERCC1の発現に関する基礎的検討	加藤利奈	産科・婦人科	400,000 円	補 日本私学学校振 委 興共催事業団
105	重症妊娠高血圧症候群の胎盤におけるアベリンの関与	犬塚悠美	産科・婦人科	200,000 円	補 日本私学学校振 委 興共催事業団
106	前置胎盤に対して安全に帝王切開術を行うための子宮底部横切開と各種骨盤内操作による新しい術式の評価と実践	犬塚悠美	産科・婦人科	100,000 円	補 日本私学学校振 委 興共催事業団
107	アネキシンA5遺伝子多型と重症妊娠高血圧症候群の関連	宮村浩徳	産科・婦人科	200,000 円	補 日本私学学校振 委 興共催事業団
108	随意運動介助型電気刺激を用いた摂食・嚥下障害患者の嚥下動作再建法	加賀谷 斉	リハビリテー ション科	520,000 円	補 文部科学省科学 委 研究費
109	神経免疫応答の画像診断—新規PBRリガンドによるアプローチと多角的検証	外山 宏	放射線科	2,990,000 円	補 文部科学省 委 科学研究費
110	修正型電気けいれん療法(m-ECT)におけるストレス軽減に関する検討	竹田 清	麻酔科1	700,000 円	補 藤田学園教員研 委 究助成費
111	全胚培養法を応用した口唇裂発生における各種揮発性麻酔薬の作用機序の解析	山田守正	麻酔科1	250,000 円	補 藤田学園教員研 委 究助成費
112	ペインクリニック領域における代替療法の効果判定について	大原義隆	麻酔科1	150,000 円	補 藤田学園教員研 委 究助成費
113	光線療法における治療効果の検討—疾患ごとの差異について—	木村直暁	麻酔科1	150,000 円	補 藤田学園教員研 委 究助成費
114	頰部の伸展・屈曲による気管内チューブ位置適正化の為の研究	新居 憲	麻酔科1	150,000 円	補 藤田学園教員研 委 究助成費
115	修正型電気痙攣療法におけるマウスガードの有用性の検討	大上沙央理	麻酔科1	150,000 円	補 藤田学園教員研 委 究助成費

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
116	重症熱傷における免疫異常とalarmin：焼痂由来ミトコンドリアDNAの関与	中村智之	麻酔科2	2,210,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費
117	急性肺障害における血管内皮前駆細胞の動態解析：自家移植による再生治療の試み	武山直志	救急科	650,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費
118	敗血症性多臓器不全に対する間葉系幹細胞移植療法とthymosin ベータ4の応用	加納秀記	救急科	2,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 文部科学省 <input type="checkbox"/> 委 科学研究費
119	In vitro 培養系を用いた大腸発がん機構の解析	塚本徹哉	病理診断科	1,000,000 円	<input type="checkbox"/> 補 独立行政法人国立 <input checked="" type="checkbox"/> 委 がん研究センター
120	化学物質の安全性と発がん性リスク評価のための短・中期バイオアッセイ系の開発	塚本徹哉	病理診断科	2,800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
121	がん化学予防剤の開発に関する基礎及び臨床研究	塚本徹哉	病理診断科	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補 厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
122	個体レベルにおける放射線照射による遺伝子発現変動の臓器別解析	塚本徹哉	病理診断科	1,050,000 円	<input type="checkbox"/> 補 (財)電力中央研究所 原 <input checked="" type="checkbox"/> 委 子力技術研究所 放射 線安全研究センター
123	ヒト腫瘍性病変の病理組織学および免疫組織学的研究	黒田 誠	病理診断科	2,400,000 円	<input type="checkbox"/> 補 中京クリニカルセ <input checked="" type="checkbox"/> 委 ンター

小計8

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合には「委」に「レ」をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

合計123

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題命	発表者氏名	所属部門
1	Europace 13(11): 1612-1618, 2011	Beat-to-beat variability of T-wave amplitude for the risk assessment of ventricular tachyarrhythmia in patients without structural heart disease.	祖父江嘉洋	循環器内科
2	Eur Heart J 32(22): 2814-2823, 2011	Coronary CT angiographic characteristics of culprit lesions in acute coronary syndromes not related to plaque rupture as defined by optical coherence tomography and angioscopy.	尾崎行男	循環器内科
3	Ann Noninvasive Electrocardiol 16(4): 373-378, 2011	Eicosapentaenoic acid for the prevention of recurrent atrial fibrillation.	渡邊英一	循環器内科
4	Ann Noninvasive Electrocardiol 16(3): 250-257, 2011	Prognostic significance of T-wave amplitude in lead aVR in heart failure patients with narrow QRS complexes.	奥田健太郎	循環器内科
5	Heart Vessels 26(4): 363-369, 2011	Prediction of the no-reflow phenomenon during percutaneous coronary intervention using coronary computed tomography angiography.	針谷浩人	循環器内科
6	心電図 31(5): 459-466, 2011	洞調律と心房細動における心臓再同期療法効果の比較	祖父江嘉洋	循環器内科
7	JACC Cardiovasc Imaging 5(2): 169-177, 2012	Impact of statin therapy on plaque characteristics as assessed by serial OCT, grayscale and integrated backscatter-IVUS.	服部晃左	循環器内科
8	心臓 44(2): 132-139, 2012	日本人の慢性心不全患者に対する β 1選択性 β 遮断薬ビソプロロールの有用性に関する検討	宮城島賢二	循環器内科
9	Nagoya J Med Sci. 73(3-4): 69-78, 2011	CD40/CD40 ligand interactions in immune responses and pulmonary immunity.	Imaizumi K	呼吸器内科・アレルギー科
10	Int J Comput Assist Radiol Surg. 7(3): 359-369, 2011	Real-time marker-free patient registration for electromagnetic navigated bronchoscopy: a phantom study.	Imaizumi K	呼吸器内科・アレルギー科
11	Mol Carcinog. 51(5): 400-410, 2011	Involvement of the transcription factor twist in phenotype alteration through epithelial-mesenchymal transition in lung cancer cells.	Imaizumi K	呼吸器内科・アレルギー科
12	Am J Respir Cell Mol Biol. 45(4): 684-691, 2011	Capsaicinoids regulate airway anion transporters through Rho kinase- and cyclic AMP-dependent mechanisms.	Imaizumi K	呼吸器内科・アレルギー科
13	Anticancer Drugs. 22(8): 811-816, 2011	Phase II study of S-1 monotherapy as a first-line treatment for elderly patients with advanced nonsmall-cell lung cancer: the Central Japan Lung Study Group trial 0404.	Imaizumi K	呼吸器内科・アレルギー科
14	Medicina 48(6): 960-964, 2011	[睡眠呼吸障害の克服 内科医が知っておきたい病態・症状・関連疾患] 睡眠呼吸障害の病態生理 睡眠呼吸障害と性差	榊原博樹	呼吸器内科・アレルギー科
15	総合臨牀 60(12): 2470-2477, 2011	閉塞性細気管支炎	今泉和良	呼吸器内科・アレルギー科

小計15

No.	雑誌名	題命	発表者氏名	所属部門
16	NSAIDs過敏気道疾患の病 因、発症機序解明とガイドラ イン作成に関する研究(平成23 年度総括・分担研究報告書) :23-26,2012	難治性喘息、アスピリン喘息の臨床背景の検討	磯谷澄都	呼吸器内科・ アレルギー科
17	肥満残存高血圧合併睡眠時 無呼吸患者に対する防風通 聖散及び大柴胡湯の治療効 果の比較と病態生理の解明 (平成23年度研究報告書) :101-108,2012	女性の閉塞性睡眠無呼吸症候群とメタボリックシ ンドローム:男性患者との比較	榊原博樹	呼吸器内科・ アレルギー科
18	Hepatol Res. 41(5): 423-429,2011	Liver stiffness in extrahepatic cholestasis correlates positively with bilirubin and negatively with alanine aminotransferase	Harata M	肝胆膵内科
19	J Gastroenterol. 46(11): 1324-1334,2011	Reduction of liver stiffness by antiviral therapy in chronic hepatitis B	Osakabe K	肝胆膵内科
20	Liver Int. 31(9): 1359-1365,2011	Association of interleukin 28B and mutations in the core and NS5A region of hepatitis C virus with response to peg-interferon and ribavirin therapy.	Yoshioka K	肝胆膵内科
21	J Viral Hepat. 18(4): 280-286,2011	Mutations in the core and NS5A region of hepatitis C virus genotype 1b and correlation with response to pegylated-interferon-alpha 2b and ribavirin combination therapy.	Yoshioka K	肝胆膵内科
22	Cancer Sci. 103(2): 350-359,2012	Isolation of human mAbs that directly modulate FMS-related tyrosine kinase 3 signaling	Yamamoto Y	血液内科
23	厚生労働科学研究費補助 金難治性疾患克服研究事 業(平成23年度総括・分担 研究報告書) :1-3,2012	混合性結合組織病の病態解明、早期診断と治療 法の確立に関する研究	吉田俊治	リウマチ・ 感染症内科
24	厚生労働科学研究費補助 金難治性疾患克服研究事 業(平成23年度総括・分担 研究報告書) :9-10,2012	混合結合組織(MCTD)の肺動脈性高血圧症 (PAH)診断の手引きの検証(計画)	深谷修作	リウマチ・ 感染症内科
25	厚生労働科学研究費補助 金難治性疾患克服研究事 業(平成23年度総括・分担 研究報告書) :41-43,2012	膠原病特に混合性結合組織における感染症誘 発因子に関する研究	吉田俊治	リウマチ・ 感染症内科
26	Allergol Int 60(4): 405-409,2011	Pulmonary arterial hypertension in connective tissue diseases	Yoshida S	リウマチ・ 感染症内科
27	Curr Med Res Opin 27(9): 1827-1834,2011	Efficacy,safety, and pharmacokinetics of ambrisentan in Japanese adults with pulmonary arterial hypertension.	Yoshida S	リウマチ・ 感染症内科
28	Therapeutic Apheresis and Dialysis 15(4): 394-399, 2011	Comparison of Free Light Chain Removal by Four Blood Purification Methods	Kanayama K	腎内科
29	日本薬理学雑誌 139(1): 17-21,2012	慢性腎臓病および糖尿病性腎症における硫化水 素の関与	湯澤由紀夫	腎内科

No.	雑誌名	題命	発表者氏名	所属部門
30	Med Mol Morphol 44(4):207-212, 2011	The C-terminal domain of the adenomatous polyposis coli (Apc) protein is involved in thyroid morphogenesis and function	横山敦司	内分泌・代謝内科
31	Internal Medicine 50(8):915-918,2011	Transient splenic lesion of the corpus callosum in H1N1 influenza virus-associated encephalitis/encephalopathy.	Ito S	神経内科
32	Blood Purification 32(1):57-62,2011	Reduction of Alzheimer's disease amyloid- β in plasma by hemodialysis and its relation to cognitive functions.	Kitaguchi N	神経内科
33	臨床神経学 51(11):849-852,2011	教育講演7 神経疾患と糖鎖生物学: 新たな生命鎖の役割	武藤多津郎	神経内科
34	臨床神経学 51(4):243-247,2011	肥厚性硬膜炎の臨床像とステロイド治療法に関する1考察:自験3症例と文献例66症例からの検討	植田晃広	神経内科
35	J Affect Disord. 133(1-2):150-7,2011	Possible association between ubiquitin-specific peptidase 46 gene and major depressive disorders in the Japanese population.	福生泰久	精神科
36	J Clin Virol 51(1):12-19,2011	Different characteristics of human herpesvirus 6 encephalitis between primary infection and viral reactivation	Kawamura Y	小児科
37	J Med Virol 83(4):702-709,2011	High incidence of cytomegalovirus, human herpesvirus-6, and Epstein-Barr virus reactivation in patients receiving cytotoxic chemotherapy for adult T cell leukemia.	Yoshikawa T	小児科
38	Transplant Infect Dis 14(1):49-56,2012	Analysis of rotavirus antigenemia in hematopoietic stem cell transplant recipients	Sugata K	小児科
39	BMJ Open 1(1):e000118,2011	Screening for congenital cytomegalovirus infection using newborn urine samples collected on filter paper: feasibility and outcomes from a multicentre study	Yoshikawa T	小児科
40	Microbiol Immunol 56(2):93-98,2012	Host factors associated with the kinetics of EBV DNA load in patients with primary EBV infection	Yoshikawa T	小児科
41	J Med Virol 84(6):986-991,2012	Correlation between serum matrix metalloproteinase and antigenemia levels in patients infected with rotavirus	Kawamura Y	小児科
42	Bone Marrow Transplant 2012	Posterior reversible encephalopathy syndrome in a child with post-transplant HHV-6B encephalitis	Kawamura Y	小児科
43	Ann Allergy Asthma Immunol. 107(3):283-4,2011	A patient with salmon roe allergy showing taxonomy-unrelated cross-reactivity with sea urchin roe	Kondo Y	小児科
44	小児外科 43(5):517-520,2011	主膵管構築像を利用した膵腫瘍手術におけるマルチスライスCTの有用性	日比将人	小児外科
45	侵襲と免疫 21(1):20-24,2012	【腹部低侵襲手術の現状と展望】 手術支援ロボットを用いた肝および膵切除の現状	加藤悠太郎	肝脾外科
46	Journal of Hepatobiliary Pancreatic Science 18(2):287-291,2011	Robot-assisted laparoscopic pancreaticoduodenectomy	Horiguchi A	胆膵外科
47	Hepato-Gastroenterology 58:1018-1021,2011	Middle-segment-preserving pancreatectomy for biliary-pancreatic tumors	Horiguchi A	胆膵外科

No.	雑誌名	題命	発表者氏名	所属部門
48	Journal of Hepatobiliary Pancreatic Science 18(4):488-492,2011	Robot-assisted laparoscopic pancreatic surgery	Horiguchi A	胆膵外科
49	日本外科学会雑誌 112(3):159-163,2011	膵癌診療の現況と課題 2. 浸潤性膵管癌に対するIPDA先行処理膵頭十二指腸切除術	堀口明彦	胆膵外科
50	日本消化器外科学会雑誌 44(9):1126-1133,2011	多列検出器CTとカラードブラ断層法による胆嚢壁血流測定が術前診断に有用であった黄色肉芽腫性胆嚢炎の3例	山元俊行	胆膵外科
51	胆道 25(4):645-650,2011	胆道領域におけるロボット支援腹腔鏡下手術	堀口明彦	胆膵外科
52	World Journal of Gastroenterology 17(15):2054-2057,2011	Laparoscopic repair of hiatal hernia with mesenterioaxial volvulus of the stomach	Inaba K	上部消化管外科
53	日本消化器外科学会雑誌 44(6):787-794,2011	当科での局所進行胃癌に対する腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術の経験	吉村文博	上部消化管外科
54	手術 65(6):719-723,2011	6.食道良性腫瘍に対する手術(鏡視下)	河村祐一郎	上部消化管外科
55	Journal of Gastrointest Surgery 15(6):1043-1048,2011	A protective technique for retraction of the liver during laparoscopic gastrectomy for gastric adenocarcinoma: using a Penrose drain.	Shinohara T	上部消化管外科
56	日本臨牀 69(6):306-309,2011	腹臥位におけるロボット支援下食道切除術	石田善敬	上部消化管外科
57	Gastric Cancer 14(4):365-371,2011	The delta-shaped anastomosis in laparoscopic distal gastrectomy: analysis of the initial 100 consecutive procedures of intracorporeal gastroduodenostomy	Kanaya S	上部消化管外科
58	日本内視鏡外科学会雑誌 16(5):637-643,2011	腹腔鏡下噴門側胃切除における縦隔内食道残胃吻合-ナイフレス自動縫合器を用いた食道細径胃管吻合-	吉村文博	上部消化管外科
59	Pathobiology 78:328-333,2011	Robot-Assisted Surgery for Gastric Cancer: Experience at Our Institute	Isogaki J	上部消化管外科
60	Surgical Endoscopy 25(12):3928-3929,2011	Video: laparoscopy distinctive technique for suprapancreatic lymph node dissection: medial approach for laparoscopic gastric cancer surgery.	Kanaya S	上部消化管外科
61	Digestion 83(3):184-190,2011	Clinical outcome and clinicopathological characteristics of recurrence after laparoscopic gastrectomy for advanced gastric cancer.	Yoshimura F	上部消化管外科
62	Treatment of Esophageal and Hypopharyngeal Squamous Cell Carcinoma 257-270,2012	Minimally Invasive Esophagectomy: General Problems and Technical Notes	Uyama I	上部消化管外科
63	消化器外科 35(2):183-191,2012	胃癌における腹腔鏡下手術の適応拡大	磯垣 淳	上部消化管外科
64	World Journal of Surgery 36(7):1608-1616,2012	Robot-assisted Thoracoscopic Lymphadenectomy Along the Left Recurrent Laryngeal Nerve for Esophageal Squamous Cell Carcinoma in the Prone Position: Technical Report and Short-term Outcomes	Suda K	上部消化管外科

小計17

No.	雑誌名	題命	発表者氏名	所属部門
65	World Journal of Surgery 36(2):331-337,2012	Novel Integrated Robotic Approach for Suprapancreatic D2 Nodal Dissection for Treating Gastric Cancer: Technique and Initial Experience	Uyama I	上部消化管外科
66	日本臨牀 69(3):189-192,2011	Stage II 大腸癌の予後因子	佐藤美信	下部消化管外科
67	日本外科学会雑誌 112(5):309-312,2011	早期直腸癌に対する局所切除術	勝野秀稔	下部消化管外科
68	手術 65(9):1273-1276,2011	経肛門的局所切除術	前田耕太郎	下部消化管外科
69	日本腹部救急医学会雑誌 31(6):855-859,2011	腹腔鏡下大腸切除術における偶発症とその対策	升森宏次	下部消化管外科
70	癌と化学療法 38(11):1790-1792,2011	大腸癌に対するロボット手術	勝野秀稔	下部消化管外科
71	癌と化学療法 38(12):2232-2234,2011	他臓器に浸潤した直腸癌に対する術前化学放射線療法の治療成績	佐藤美信	下部消化管外科
72	日本外科系連会誌 36(6):913-919,2011	結腸MP癌の臨床病理学的検討-リンパ節郭清に対する考察-	佐藤美信	下部消化管外科
73	手術 66(2):165-169,2012	早期大腸癌における機能温存手術	前田耕太郎	下部消化管外科
74	Journal of Surgical Oncology 104:45-52,2011	High-Risk Stage II Colon Cancer After Curative Resection	Sato H	下部消化管外科
75	Int J Colorectal Dis 26:881-889,2011	Prognostic significance of lateral lymph node dissection in node positive low rectal carcinoma	Sato H	下部消化管外科
76	Surg Today 41:1548-1551,2011	Trans-Sacral Resection of a Solitary Fibrous Tumor in the Pelvis:Report of a Case	Katsuno H	下部消化管外科
77	Tech Coloproctol 16(2):143-145,2012	Simple excision and closure of a distal limb of loop colostomy prolapse by stapler device	Masumori K	下部消化管外科
78	Circulation Journal 75(5):1258-1281,2011	Guidelines for the diagnosis,treatment and prevention of pulmonary thromboembolism and deep vein thrombosis (JCS2009)-Digest version- JCS Joint Working Group (Chair:Motomi Ando)	Ando M	心臓血管外科
79	胸部外科 64(6):442-443, 2011	弓部大動脈置換術後の胸部下行胸部大動脈置換術: 討論-1.	安藤太三	心臓血管外科
80	Annals of thoracic and cardiovascular surgery 18(1):24-30,2012	Non-invasive evaluation of internal thoracic artery anastomosed to the left anterior descending artery with 320-detector row computed tomography and adenosine thallium-201 myocardial perfusion scintigraphy	Takagi Y	心臓血管外科
81	Gen Thorac Cardiovasc Surg 59(7):467-471,2011	The Importance of Preoperative Magnetic Resonance Imaging in Valve Surgery for Active Infective Endocarditis	Takagi Y	心臓血管外科
82	胸部外科 64(13):1145-1147,2011	肺摘除後症候群に対する中心静脈ポート留置の応用	北村由香	呼吸器外科

No.	雑誌名	題命	発表者氏名	所属部門
83	Annals of Thoracic Surgery 93(1):334-336,2012	Single-port Thymectomy through an Infrasternal Approach.	須田 隆	呼吸器外科
84	Cancer Sci. 102(10):1848-1854,2011	Sex steroid hormones in pairs of tumor and serum from breast cancer patients and pathobiological role of androstene-3 β , 17 β -diol.	Utsumi T	乳腺外科
85	THE BREAST 20(4):S25-S26,2011	Ki-67 EXPRESSION PREDICTS CLINICAL OUTCOME IN LOCALLY ADVANCED BREAST CANCER	小林尚美	乳腺外科
86	European Journal of Cancer. 48(1): S85,2012	Comparison Between Screen-detected Invasive Breast Cancer and Symptomatic Breast Cancer According to Immunohistochemical Intrinsic Subtypes.	小林尚美	乳腺外科
87	日本口蓋裂学会誌 36(1):1-6,2011	粘膜下口蓋裂症例の診断・治療に関する臨床的検討	奥本隆行	形成外科
88	Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery 65:e64-66,2012	Treatment of cranium bifidum occlutum of the frontonasal region with a pericranial flap	Okumoto T	形成外科
89	Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery 65:e182-184,2012	A case of orbital hypertelorism with recovery of binocular vision after surgical treatment	Okumoto T	形成外科
90	Neurosurgery 69(2):376-390,2011	Whole genome analysis from microdissected tissue revealed adult supratentorial grade II-III gliomas are divided into clinically relevant subgroups by genetic profile.	Hirose Y	脳神経外科
91	Journal of Clinical Neuroscience 19:638-642,2012	Surgical nuances of clipping after coiling: Looking beyond the international subarachnoid aneurysm trial	Kato Y	脳神経外科
92	Emergency Medicine Journal 28:613-617,2011	Prognostic significance of acute pain preceding out-of-hospital cardiac arrest	Inamasu J	脳神経外科
93	J Infect Chemother 17:534-537,2011	Fulminant ependymitis following intraventricular rupture of brain abscess	Inamasu J	脳神経外科
94	Neurol Med Chir (Tokyo) 51; 619-623,2011	Subarachnoid hemorrhage causing cardiopulmonary arrest: resuscitation profiles and outcomes.	Inamasu J	脳神経外科
95	Emergency Radiology 18:295-298,2011	Loss of gray-white matter discrimination as an early CT sign of brain ischemia/hypoxia in victims of asphyxial cardiac arrest	Inamasu J	脳神経外科
96	Interventional Neuroradiology 17(2):154-158, 2011	Comparison of cerebral aneurysm volumes as determined by digitally measured 3D rotational angiography and approximation from three diameters	Sadato A	脳神経外科
97	Neurosurgery 69(4):843-851, 2011	Detection of pulsation in ruptured and unruptured cerebral aneurysms by electrocardiographically gated 3-dimensional computed tomographic angiography with a 320-row area detector computed tomography and evaluation of its clinical usefulness	Hayakawa M	脳神経外科

小計15

No.	雑誌名	題命	発表者氏名	所属部門
98	Neurologia medico-chirurgica 52(2):49-55,2012	Subarachnoid Hemorrhage Complicated with Neurogenic Pulmonary Edema and Takotsubo-Like Cardiomyopathy	Inamasu.J	脳神経外科
99	Geriatrics Gerontology International 1-6,2012	Influence of warfarin and low-dose aspirin on the outcomes of geriatric patients with traumatic intracranial hemorrhage resulting from ground-level fall	Inamasu J	脳神経外科
100	MT Pro -メディカルトリビューン 1-4,2012	迅速治療求められる超急性期脳卒中、320列ADCTでアウトカム改善-第12回日本クリニカルパス学会ランチョンセミナー-	早川基治	脳神経外科
101	BRAIN and NERVE 64(3):303-307,2012	外傷後2次性全般化発作、うつ症状に対する多剤投与患者へのレベチラセタムの使用経験	林 拓郎	脳神経外科
102	JNET(Journal of Neuroendovascular Therapy) 5(3):202-207,2012	遺残三叉神経動脈分岐部に生じた大径内頸動脈瘤に対する tandem balloonによる balloon test occlusion	田中铁兵	脳神経外科
103	東海脊椎外科 25:71,2011	後方から椎間操作を加えて矯正固定手術を行った脊柱側彎症	花村俊太郎	整形外科
104	医学と薬学 66(2):183-189,2011	【整形外科疾患の病態と治療(II)】脊柱側彎症 代表的病態と問題点	中井定明	整形外科
105	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc vol.167	Snapping knee due to the biceps femoris tendon treated with repositioning of the anomalous tibial insertion.	Date H	整形外科
106	Clinician 58(11):1241-1247,2011	変形性膝関節症の生物学的マーカー	山田治基	整形外科
107	東海関節 3:65-69,2011	Assessment of the significance of plasma D-dimer levels over 100 μ g/ml at 6 hours after total knee arthroplasty	Date H	整形外科
108	Clinical Calcium 22(2):237-243,2012	【関節リウマチにおける骨・軟骨病変とその治療】関節リウマチの骨・軟骨破壊に対する外科治療 人工関節置換術	早川和恵	整形外科
109	Bone Joint Nerve 2(1):119-124,2012	【変形性膝関節症をめぐる進歩】(Part4) 変形性膝関節症の保存療法 変形性膝関節症に対する ヒアルロン酸関節内注入療法の位置づけ	山田治基	整形外科
110	臨床「整形外科」別冊 63(3):261-269,2012	変形性膝関節症に対する保存的治療 一個性の患者の病態に応じた治療法の選択とガイドライン上での評価およびエビデンス	山田治基	整形外科
111	メディカル・テクノロジー 39(9):882-884,2011	「ロコモティブシンドローム」の概要とその検査法	山田治基	整形外科
112	日本骨・関節感染学会誌 25:120-123,2012	抗菌薬含有骨セメントを用いた一期的人工股関節置換・再置換術	森田充浩	整形外科
113	肘関節外科の要点と盲点 130-133,2011	尺骨近位骨折・鉤状突起骨折	鈴木克侍	整形外科
114	東海整形外科外傷研究会誌 24:3-7,2011	肘の骨折・脱臼に合併する神経麻痺の診断と治療	鈴木克侍	整形外科

No.	雑誌名	題命	発表者氏名	所属部門
115	Tohoku J.Med 225:215-220,2011	Ap53 Gene Mutation in Malignant Fibrous Histiocytoma Associated with Bone Infarction	山本康博	整形外科
116	J Environ Dermatol Cutan Allergol 5(2):91-102,2011	パッチテストアレルゲンに関するアンケート2010	松永佳世子	皮膚科
117	Dermatitis 22(6):348-349,2011	Allergic Contact Dermatitis from Carmine in Cosmetic Blush	松永佳世子	皮膚科
118	Contact Dermatiti 66:46-52,2011	Allergic Contact Dermatitis caused by a skin- lightening agent, 5,5'-dipropylbipheny1-2,2'-diol	松永佳世子	皮膚科
119	医学のあゆみ 240(6):538-542, 2012	ジャパニーズスタンダードアレルゲン陽性率の推 移	松永佳世子	皮膚科
120	Jernal of Dermatology 38:353-363,2011	Prevalence of dermatological disorders in Japan:A nationwide, cross- sectional,seasonal,multicenter,hospital-based study	松永佳世子	皮膚科
121	日本泌尿器科学会雑誌 102(5):679-685,2011	限局性腎腫瘍に対するda Vinci TM Sシステム を用いたロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術 (RANPN)～初期5症例の治療成績の検討～	白木良一	泌尿器科
122	Transplantation 93(4):364-372,2012	Mechanism of Accommodation in a Sensitized Human Leukocyte Antigen Transgenic Murine Cardiac Transplant Model	Fukami N	泌尿器科
123	Transplant Immunology 26(2-3):140-145,2012	Mizoribine-An inosine monophosphate dehydrogenase inhibitor-acts synergistically with cyclosporine A in prolonging survival of murine islet cell and heart transplants across major histocompatibility barrier	Fukami N	泌尿器科
124	日本消化器病学会雑誌 108(5):743-752,2012	脳死臍(臍・腎)移植の現状と問題点	杉谷 篤	泌尿器科
125	日本臍臓学会 臍臓 26(2),2012	[特集]臍臓・臍島移植の現状と最新の研究 臍臓移植手術手技の進歩	杉谷 篤	泌尿器科
126	Molecular Human Reproduction 17(4):266-271,2011	A rare synaptonemal complex protein 3 gene variant in unexplained female infertility	Nishiyama S	産科・婦人科
127	Oncology Reports. 25(4):1131-1138,2011	Expression of TGF β 1 and its receptors is associated with biological features of ovarian cancer and sensitivity to paclitaxel/carboplatin	Komiyama S	産科・婦人科
128	Human Cell. 24(2):65-73,2011	Effects of Tamoxifen on the endometrium and its mechanism of carcinogenicity	Yasue A	産科・婦人科
129	J. Obstet. Gynaecol. Res. 37(6):617-622,2011	Primary myoepithelial carcinoma of the vulva and review of the literature	Miyata M	産科・婦人科
130	Journal of Bone and Mineral Metabolism. 29(5):615-620,2011	High prevalence of hypovitaminosis D in pregnant Japanese women with threatened premature delivery	Shibata M	産科・婦人科
131	Systems Biology in Reproductive Medicine. 57(4) : 174-178, 2011	Impact of indoleamine 2,3-dioxygenase on the antioxidant system in the placentas of severely pre-eclamptic patients	Nishizawa H	産科・婦人科

小計17

No.	雑誌名	題命	発表者氏名	所属部門
132	Reproductive Biology and Endocrinology. 9:107,2011	Comparative gene expression profiling of placentas from patients with severe pre-eclampsia and unexplained fetal growth restriction	Nishizawa H	産科・婦人科
133	Int J Clin Oncol. 16(5):581-586,2011	A case of primary uterine cervical neuroendocrine tumor with meningeal carcinomatosis confirmed by diagnostic imaging and autopsy	Komiyama S	産科・婦人科
134	International Journal of Gynecological Cancer. 21(8):1479-1485,2011	The Relationship Between ERCC1 Expression and Clinical Outcome in Patients With FIGO Stage I to Stage II Uterine Cervical Adenocarcinoma	Hasegawa K	産科・婦人科
135	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research. 37(11):1734-1738,2011	Spontaneous spinal epidural hematoma during pregnancy: Three case reports	Tada S	産科・婦人科
136	Arch Gynecol Obstet. 284(6):1515-1521,2011	Effects of a selective COX-2 inhibitor in patients with uterine endometrial cancers	Hasegawa K	産科・婦人科
137	Int J Clin Oncol. 16(6):751-758,2011	A case of primary alveolar soft part sarcoma of the uterine cervix and a review of the literature	Hasegawa K	産科・婦人科
138	Clin Exp Optom 94(3):296-301,2011	Multifocal electroretinogram and optical coherent tomography; prediction of visual outcome after epiretinal membrane removal	Horiguchi M	眼科
139	Invest Ophthalmol Vis Sci 52(7):4113-7,2011	Dopamine modulates the voltage response of human rod photoreceptors by inhibiting the h current	Horiguchi M	眼科
140	Am J Physiol Renal Physiol. 300(4):848-856,2011	Phosphate overload induces podocyte injury via type III Na-dependent phosphate transporter	Yamamoto N	眼科
141	神経眼科 28(2):164-168,2011	Creutzfeldt-Jakob病とERG	谷川篤宏	眼科
142	眼科臨床紀要 4(11):1064-1067,2011	Pulse reference power line noise reduction を用いた皮膚電極ERGの記録	大高康博	眼科
143	IOL & RS 25(2):154-157,2011	【白内障研究アップデート】アトピー白内障発症までのメカニズム	山本直樹	眼科
144	日本白内障学会誌 23(1):40-44,2011	光学顕微鏡で観察する組織標本の作製法 組織の固定から標本作製まで	山本直樹	眼科
145	日気食会報 63(1):58-63,2012	PCPS(経皮的体外循環システム)下に摘出術を施行した頸部気管原発腺様嚢胞癌の1例	吉岡哲志	耳鼻咽喉科
146	嚙下医学 1(1):197-203,2012	嚙下時における輪状軟骨と甲状軟骨の位置の検討 一超音波診断装置による観察一	岩田義弘	耳鼻咽喉科
147	小児耳鼻咽喉科 32(3):405-408,2011	イ列音で異常構音を呈した機能性構音障害の一例	清水雅子	耳鼻咽喉科
148	日本耳鼻咽喉科学会会報 114:547-556,2011	耳管疾患の最前線 一多列検出型CT機器による耳管疾患と機能の解析一	吉岡哲志	耳鼻咽喉科
149	日本口腔・咽頭科学会雑誌 24(2):151-156,2011	鼻咽腔閉鎖不全への外科的治療時に口蓋扁桃摘出術を併用した口蓋裂児の検討	堀部晴司	耳鼻咽喉科

No.	雑誌名	題命	発表者氏名	所属部門
150	Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitation Science 2:54-62,2011	320-row area detector CT(320-ADCT)を用いた嚙下手技解析の予備的検討	柴田 斉子	リハビリテーション科
151	愛知学院大学歯学会誌 49(3):285-298,2011	A/J系マウス培養胚仔の口唇裂発現に及ぼすセボフルランの影響	山田 守正	麻酔科1
152	Contrib Nephrol 173:172-181,2011	Sustained High-Efficiency Daily Diafiltration Using a Mediator-Adsorbing Membrane (SHEDD-fA) in the Treatment of Patients with Severe Sepsis.	Nishida O	麻酔科2
153	Therapeutic Apheresis and Dialysis. 15(4):385-393,2011	In Vitro Evaluation of High Mobility Group Box 1 Protein Removal with Various Membranes for Continuous Hemofiltration.	Yumoto M	麻酔科2
154	体液・代謝管理 27(1):21-31,2011	高効率血液浄化療法による侵襲反応制御の可能性を探る	西田 修	麻酔科2
155	バイオメディカル 21:4-8,2011	予後予測指標としてのTATの可能性を探る	栗山直英	麻酔科2
156	日本外科感染症学会雑誌 8(6):729-735,2011	特集① 外科救急領域における深在性真菌症対策:カンジダ感染症を中心にープラクティス・エビデンスの批判的吟味ー 集中治療領域におけるカンジダ血症の対策ーACTIONs bundleによる深在性真菌症対策ー.	山下千鶴	麻酔科2
157	日本急性血液浄化学会雑誌 2(1):52-60,2011	血液浄化法の原理(濾過、透析、吸着)に基づく病因物質の効率的除去を再考する~注目されているalarmin、high mobility group box 1 protein (HMGB1)の血液浄化法による除去を例として~.	西田 修	麻酔科2
158	エンドトキシン血症救命治療研究会誌 15(1):31-34,2011	急性肺障害に対する急性血液浄化療法	山下千鶴	麻酔科2
159	「救急診療指針」日本救急医学会専門医認定委員会編. 666-670,2011	栄養管理	武山直志	救急科
160	Acta Haematologica 127(2):72-80,2012	4G/5G polymorphism of the plasminogen activator inhibitor-1 gene is associated with multiple organ dysfunction in critically ill patients.	Takeyama N	救急科
161	日本集中治療医学会雑誌 18(3):334-336,2011	経鼻胃管挿入時は細心の注意を!	武山直志	救急科
162	日本腹部救急医学会雑誌 31(6):863-867,2011	外傷性膵損傷における診断と治療 特集~主膵管損傷例に対する最近の診断・治療法~	平川昭彦	救急科
163	Circulation Journal 75(12):2753-2754,2011	Application of High-Sensitivity Cardiac Troponin Values	石井潤一	臨床検査科
164	Progress in Medicine 32(2):337-344,2011	2型糖尿病患者におけるDPP-4阻害薬(シタグリプチン)の糖代謝および心・腎機能に与える影響についての検討	石井潤一	臨床検査科
165	Jpn J Infect Dis. 64(1):61-62,2011	A Case of Sepsis and Meningitis Caused by Probable Travel-Related Neisseria meningitidis Serogroup B Infection: the First Report of N. meningitidis ST-4893 in Japan.	中山麻美	臨床検査部
166	Emerging Infectious Diseases 17(8):1491-1493,2011	Porcine Rotavirus Closely Related to Novel Group of Human Rotaviruses.	和久田光毅	臨床検査部
167	医療と検査機器・試薬 34(2):117-122,2011	【パピローマウイルス(HPV)検査と予防の進歩】HPVタイピングDNAチップ「クリニチップHPV」を用いたHPV型判定の基礎的検討	北原公明	臨床検査部

小計18

No.	雑誌名	題命	発表者氏名	所属部門
168	病理と臨床 29(臨増):161-163,2011	【病理診断に役立つ分子生物学】(第2部)病理診断医になじみのある疾患関連分子 CDX2(caudal type homeobox 2) 解説編	塚本徹哉	病理診断科
169	病理と臨床 29(臨増):164-168,2011	【病理診断に役立つ分子生物学】(第2部)病理診断医になじみのある疾患関連分子 CDX2(caudal type homeobox 2) 診断編	塚本徹哉	病理診断科
170	病理と臨床 30(2):211-216,2012	肺癌に合併した全身多発性梗塞および非細菌性血栓性心内膜炎の1剖検例	浦野 誠	病理診断科
171	日本口蓋裂学会雑誌 36(3):202~207,2011	口蓋裂を伴ったRussell-Silver症候群の1例	佐藤公治	歯科口腔外科
172	日本口蓋裂学会雑誌 36(1):1~6,2011	粘膜下口蓋裂症例の診断・治療に関する臨床的検討	佐藤公治	歯科口腔外科
173	日本歯科麻酔学会雑誌 39(2):208~209,2011	上下顎および頬粘膜の癒着により開口障害を伴ったOral synechia患児の全身麻酔経験	小林義和	歯科口腔外科
174	Jpn J Compr Rehabil Sci2:18-23,2011	Examination of the distance measurement error and exposed does when using a 320-row area detector CT: A comparison with videofluoroscopic examination of swallowing	金森大輔	歯科口腔外科

小計7

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

合計174

診療並びに病院の管理に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 星長 清隆			
管理担当者氏名	事務局長 総務部長 医療事務部長 入院医事課長 外来医事課長 労務課長	山田 一俊 伊藤 稔 濱野 和治 成田 達哉 後藤 靖司 古庄 公美子	安全管理室長 感染対策室長 薬剤部長	杉岡 篤 吉田 俊治 山田 成樹

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院治療計画書		総務課 外来医事課 入院医事課 各診療科 フィルム中央管理室 診療録管理室	・外来カルテ・入院カルテ共に電子カルテとしています。 ・保存期間は、外来カルテは10年、入院カルテは30年としています。 ・X線写真は、中央管理しています。 なお一部は各診療科毎に保管しています。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者を明らかにする帳簿	人事部	
	高度医療の提供の実績	外来医事課 入院医事課	
	高度医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	外来医事課 入院医事課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	外来医事課 入院医事課 薬剤部	
規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	安全管理室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	安全管理室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	安全管理室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	安全管理室	
	当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	安全管理室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の1第1項各号及び第9条の2第3項第1号に掲げる体制の確保状況		
	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室	
	院内感染のための委員会の開催状況	感染対策室	
	従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	感染対策室	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME管理室	
	従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME管理室	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME管理室	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME管理室		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療の提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務局長	山田 一俊
閲覧担当者氏名	薬剤部長 総務部長 医療事務部長 入院医事課長 外来医事課長 労務課長	山田 成樹 伊藤 稔 濱野 和治 成田 達哉 後藤 靖司 古庄 公美子
閲覧の求めに応じる場所	事務局 応接室	

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療の提供の実績

紹介率	67.4%	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		21,430人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		15,083人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		6,456人
	D：初診の患者の数		48,697人

(注) 1 「紹介率」欄はA、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dはそれぞれの延べ数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 ・指針の主な内容 医療安全に関する基本的な考え方、組織体制、医療安全に係る各種委員会について、安全管理責任者の設置、医療事故発生時の対応における基本的な考え方	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 ・活動の主な内容 ・医療問題対策委員会(月1回) ・事故防止対策委員会(月1回) ・セーフティマネージャー会(偶数月) 医療事故の予防策の検討及び推進、対応方法、情報交換 患者相談窓口からの相談・苦情についての審議	年 30 回
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 ・研修の主な内容 ・第1回安全管理研修会「リソースマネジメントスキル(ノンテクニカルスキル)の実践」平成23年6月28日 ・第2回安全管理研修会「医療へのニーズとコンプライアンス」平成24年2月23日	年 2 回
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 ・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 ・転倒転落防止ワーキンググループ立ち上げ ・患者誤認防止キャンペーンの実施 ・セーフティマネージャーの巡視	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(3 名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(6 名) <input type="checkbox"/> 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 ・所属職員: 専任(3)名 兼任(1)名 ・活動の主な内容 ・安全管理報告の確認 ・院内診療各部門・委員会に対して医療安全に関する要求や提言 ・職員の安全管理教育	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

院内感染のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無								
<p>・指針の主な内容</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 院内感染に対する基本的な考え方</td> <td>5. 院内感染発生時の対応に関する基本指針</td> </tr> <tr> <td>2. 院内感染防止対策の組織に関する基本的事項</td> <td>6. 院内感染防止対策指針の閲覧に関する基本方針</td> </tr> <tr> <td>3. 院内感染防止対策のための研修に関する基本方針</td> <td>7. その他の院内感染対策推進のために必要な基本方針</td> </tr> <tr> <td>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</td> <td></td> </tr> </table>		1. 院内感染に対する基本的な考え方	5. 院内感染発生時の対応に関する基本指針	2. 院内感染防止対策の組織に関する基本的事項	6. 院内感染防止対策指針の閲覧に関する基本方針	3. 院内感染防止対策のための研修に関する基本方針	7. その他の院内感染対策推進のために必要な基本方針	4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針	
1. 院内感染に対する基本的な考え方	5. 院内感染発生時の対応に関する基本指針								
2. 院内感染防止対策の組織に関する基本的事項	6. 院内感染防止対策指針の閲覧に関する基本方針								
3. 院内感染防止対策のための研修に関する基本方針	7. その他の院内感染対策推進のために必要な基本方針								
4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針									
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回								
<p>・活動の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策委員会 月1回(年12回) ・感染防止対策実務小委員会 (Infection Control Team:ICT) 月2回(年24回4月のみ1回) ・感染防止対策担当者連絡会 隔月1回(年6回) <p>感染対策実務小委員会からの活動報告および感染対策に関わる提案事項の検討 MRSA発生状況の報告と改善案の検討 結核発生状況の報告と、それに対する接触者検診の範囲検討</p>									
③ 従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	年 2 回								
<p>・研修の主な内容 : 院内感染に関する職員への啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「多剤耐性アンネクター多発事例を振り返って」 名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部 准教授 八木 哲也先生 ・「我が国の結核対策」 厚生労働省 成田空港検疫所 所長 亀井 美登利 先生 									
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況									
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTラウンド 1回/月 ・ICTコアラウンド 1回/週 ・抗MRSA使用患者 カルテ回診 1回/週 									

医薬品の使用に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・活動の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な麻薬の取り扱いについて (H23.5.30 全職員対象) ・薬剤の医療安全に関する勉強会～内服編～ (H23.9.28 全職員対象) ・麻薬の管理について:取り扱いについて (H23.9.30 医療従事者対象) ・薬剤の医療安全に関する勉強会～注射編～ (H24.1.31 全職員対象) 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	年 1 回
<p>・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・業務の主な内容</p> <p>チェックリストを用い、薬剤部内や病棟を調査</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品・医療用具等安全性情報・緊急安全性情報は、院内ネットワークにて配信し、さらに紙媒体も配信する。 ・添付文書に改訂があった場合、電子媒体にて配信する。 ・医薬品安全性情報を入手した場合、当該薬剤を使用している患者一覧を作成し、病棟薬剤師へ情報提供し、病棟薬剤師は対象となる患者の主治医に対して、情報を文書にて伝達する。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 15 回
・活動の主な内容	
平成23年度 研修会開催実績	
研修会内容	人工呼吸器関連:6回、 経腸栄養ポンプ関連1回、 生体情報モニタ関連:1回 自己血回収装置:2回、 補助循環・人工心肺関連:2回、 輸液関連:3回
参加職種・人数	医師6名、看護師:247名、その他:193名 合計446名
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	年 26,902 回
・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
・保守点検の主な内容	
平成23年度 医療機器点検実績	
人工呼吸器	10,364 件 (内 定期点検 471件)
輸液関連機器	16,085 件 (内 定期点検1,269件)
循環関連装置(CPB・IABP等)	39 件
透析関連装置	118 件
閉鎖式保育器	19 件
除細動装置	277 件 (内 定期点検 80件)
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
・その他の改善のための方策の主な内容	
厚生労働省及び病院機能評価機構ホームページからの医療安全情報の収集および医療機器メーカーからの安全情報の提供。それらの入手情報を病院イントラネットME管理室HPから病院職員への情報提供。取扱い説明書の一元管理。医療機器更新時の機種統一化への努力。院内医療機器不具合報告書の運用及びデータの収集、解析、フィードバック。	